

国土交通省政策会議（第6回）議事要旨

1. 日時 平成21年12月17日（木）14:00～15:00

2. 場所 中央官庁合同庁舎第2号館低層棟共用会議室2A・2B

3. 出席者

【国土交通省】馬淵澄夫副大臣、辻元清美副大臣

長安豊大臣政務官、三日月大造大臣政務官、藤本祐司大臣政務官

4. 議題

- ・ 整備新幹線について
- ・ 観光立国推進本部について
- ・ 今後の治水対策のあり方に関する有識者会議について
- ・ 税制改正について
- ・ その他（経済対策について、二次補正について、平成22年度予算重点要望）

5. 議事要旨

（1）挨拶

（2）議事要旨

○ 配付資料に沿って説明

○ 質疑

（3）出席議員からの主な意見

【整備新幹線について】

- ・ 昨日、党から予算編成について申入れをした。この申入れを踏まえた基本方針、当面の整備方針を改めてこの場に示していただきたい。
- ・ 未着工区間についても検討を前倒し、23年度概算要求に反映させてほしい。22年度も何らかの予算の裏付けを持ったうえで、動きを示してほしい。
- ・ 並行在来線について、様々な問題が出てきている。そのうちの一つ、並行在来線の経営分離の際の鉄道資産の取得について、現在は、自治体が単独で取得しているが、JR貨物との共同資産にできないか。
- ・ 現在は、新規施設への投資について、自治体とJR貨物との間で費用負担のルールがない。また、固定資産税についてもJR貨物が負担する仕組みがない。JR貨物の役割を明確にした上で、一定のルールを作るべき。
- ・ 財源の確保のためには、他の事業との予算配分の見直しも必要なのではないか。
- ・ EUなどでは、高速鉄道を更に延ばす計画がある。高速鉄道は、環境・観

光面でも効果があるという現状を十分把握してほしい。

- ・ 優先順位の検討の際には、交流人口等も含めた客観的なデータに基づいて検討してほしい。
- ・ 九州新幹線長崎ルートは、武雄温泉・諫早間だけが着工しており、分断されている。フル規格で通してほしい。
- ・ 長崎港と一体的に活用すれば、在来線も貨物路線として十分活かせる。そういった踏み込んだ議論にも入ってほしい。
- ・ 長い期間のファイナンスを考える際には、割引率が少し変わるだけで、結果が大きく変わってしまう。新幹線だけではなく、安易にPFIを導入するのは危ないので注意してほしい。

【観光立国推進本部について】

- ・ 休暇取得について、子供たちへの対策を講じてほしい。韓国では、帰省する子供たちに学校長の推薦により休暇を与える制度がある。経済対策として、このような取組みを検討してほしい。
- ・ 日本の医療技術が高いのは分かるが、医療と観光を結びつけるのはイメージが良くないのではないか。また、観光立国推進本部の副本部長が男性だけとなっているが、いま元気な観光地は女性が多く訪れる観光地であることを考えると、構成員に女性を加えるべきではないか。
- ・ 国内観光税制については本年は要望を取り下げたが、これを休暇分散化ワーキングチームで検討し、全省庁がメンバーとして参加する観光立国推進本部で意思決定した上で、来年要望してはどうか。
- ・ 地方においては、有効な雇用対策となるのは観光くらいしかない。ぜひ頑張してほしい。

【今後の治水対策のあり方に関する有識者会議について】

- ・ 原則公開とするようもう一度会議で諮って欲しい。
- ・ 議事録から発言者名を除かずに公開して欲しい。
- ・ 1年半の検討期間は長すぎないか。
- ・ 委員以外からのヒアリングの人選はどうなっているか。また、とりまとめまでにパブリックコメント等により広く意見を聴く予定があるのか。
- ・ 15日付の大臣から各知事への補助ダムに関する手紙についてお聞きしたい。
- ・ 河川法による住民意見の「聴取」は、住民意見の「反映」とするべきである。

【その他（平成22年度予算重点要望）】

- ・ 民主党から政府に提出した「平成22年度予算重要要点」について、「⑧高速道路の整備」の中で、「新直轄事業をとりやめ、これに見合う額を国が高速道路会社に対し支援する」とあるが、具体的にどういう意味合いなのか。

～以上～